

中国：負極材料企業が二極化になりつつある

4月、中国の負極材料市場が安定的に動いており、出荷量は前月比にやや増加傾向であり、前年同期比では明らかに伸ばした。その主因は車載用電池の需要が増大することである。価格においては相対的に安定して推移している。

負極材料企業にとって原料の値上げや、黒鉛化の生産能力がついてこない等の課題を抱えている。また、車載用電池の需要が予想を下回り、主要メーカーはこれらの影響に軽微のようであるが、多くの中小メーカーは生産も、出荷も影響を受けている。負極材料の生産企業が二極化になりつつある。

(出典：ICC 他)